

核兵器禁止条約の交渉が国連で始まる！

「ヒバクシャ国際署名」で実現の扉を開こう

ヒバクシャのよびかけで 世界をうごかそう



3月27日から31日まで、ニューヨークの国連本部で、核兵器禁止条約をつくるための国際会議が開かれます。広島と長崎に原爆が投下されてから71年余りですが、このような会議は初めてのことです。

交渉が実現したのは、広島・長崎の被爆者がねばり強く自らの体験を広めたり、さまざまな核兵器禁止をもとめる署名運動がされたりしてきた結果です。

交渉を成功させ、条約実現の力となるのは、ヒバクシャのよびかけが進められている「ヒバクシャ国際署名」です。交渉会議に向けて、多くの核兵器禁止の声を国際社会へ示す必要があります。ぜひ、「ヒバクシャ国際署名」にご協力ください。

日本政府は禁止条約のために 真剣な努力を

被爆国である日本の政府は、この核兵器禁止条約交渉会議に参加の姿勢を示していません。会議の開催を求める国連決議には、なんと反対票を投じたのです。

核兵器禁止条約の実現に危機感を抱いたアメリカと足並みをそろえたためですが、核兵器を禁止・廃絶することは、国際連合が設立された当初から国際社会で合意されてきたことです。原爆投下から71年が経ち、被爆者の平均年齢が80歳を

超えた今、日本政府はその願いに応えて禁止条約実現のために力を尽くすべきです。

「ヒバクシャ国際署名」は、日本政府へ禁止を求める人びとの意志を示すものです。ぜひ署名をお願いします。(2017.3.6)

